

生活交通確保維持改善計画（案）における生産性向上の取組
橋本駅南口～小沢・田名バスターミナル（神奈川中央交通株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・地域の情報紙に補助金を使って運行していること、利用促進に向けた協力依頼を掲載（相模原市）
- ・地域住民によるバス等必要な生活交通の協議会を実施（相模原市）
- ・市のHP及び広報にPRのため運行路線を掲載（相模原市）
- ・市内公共交通網の強化のため、地域住民と運行内容の見直しを実施し、愛川町の小沢バス停までの運行となっていた当該バス路線について、令和3年4月に相模原市の主要バスターミナルである田名バスターミナルまでの延伸を実施（相模原市）
- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施（事業者）

2 今後の取組

- ・地域の情報紙に補助金を使って運行していること、利用促進に向けた協力依頼を掲載（相模原市）
- ・地域住民によるバス等必要な生活交通の協議会を実施（相模原市）
- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施（事業者）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R6
運行回数(回/日)	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
路線キロ程(km)	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	13.2	13.5	13.5
年間実車走行キロ(km) ※R6は年間計画実車走行キロ(km)	41,719.5	41,688.7	41,614.7	41,478.2	41,402.0	43,829.3	46,509.2	46,444.8
経常費用 A(千円) ※R6は見込額	21,950	22,604	23,142	23,776	24,154	25,933	28,134	27,557
経常収益 B(千円) ※R6は見込額	8,302	8,928	8,764	8,349	6,667	6,817	7,796	7,496
収支率 B÷A(%) ※R6は目標収支率 下記(2)参照	37.82	39.50	37.87	35.12	27.60	26.29	27.71	28.71
年間輸送人員 D(人) ※R6は目標年間輸送人員 下記(1)参照	42,869	44,068	41,066	41,106	32,500	38,121	43,651	45,000

(1) 目標年間輸送人員

- ①運行回数1回当たりの利用者を1人増やす
→1人×4.4回×366日=1,610人
 - ②基準値
直近3年間（R2～R4）の年間輸送人員の平均値、またはR4の年間輸送人員と比較し高いものとする。
→38,090人（R2～R4平均）<43,651人（R4年間輸送人員）
 - ③R6目標年間輸送人員設定（①+②）
→1,610人+43,651人=45,261人
→百の単位を四捨五入、45,000人を目標値とする。
- ・設定理由
利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数1回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

- ①年間事業収支率を1%改善する
 - ②基準値
直近3年間（R2～R4）の収支率の平均値またはR4の収支率のいずれか大きいほうとする。
→27.20（直近3年間収支率平均値）<27.71%（R4収支率）
 - ③R6目標収支率設定（①+②）
→27.71%+1%=28.71%
- ・設定理由
収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考 補助金交付実績額の内訳 単位:千円)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国	3,183	3,166.5	3,138.0	4,185.0	4,661.5	5,060.5	5,006.5
県	3,183	3,166.5	3,138.0	4,185.0	4,238.0	5,060.0	5,006.0
市	7,854	7,191	7,174	4,675.1	4,158.4	4,312.2	6,513.4
合計	14,220	13,524	13,450	13,045.1	13,057.9	14,432.7	16,525.9

生活交通確保維持改善計画（案）における生産性向上の取組
鳥居原ふれあいの館～橋本駅（神奈川中央交通株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・地域の情報紙に補助金を使って運行していること、利用促進に向けた協力依頼を掲載（相模原市）
- ・市のHP及び広報にPRのため運行路線を掲載（相模原市）
- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施（事業者）

2 今後の取組

- ・地域の情報紙に補助金を使って運行していること、利用促進に向けた協力依頼を掲載（相模原市）
- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施（事業者）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R6
運行回数(回/日)	10.0	10.0	10.0	10.0	9.9	9.9	9.9	10.0
路線キロ程(km)	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3
年間実車走行キロ(km) ※R6は年間計画実車走行キロ(km)	134,285.6	133,949.8	133,467.8	133,911.6	133,808.2	133,817.1	133,890.1	134,322.0
経常費用 A(千円) ※R6は見込額	70,653	72,664	74,224	76,763	78,065	79,179	80,992	79,698
経常収益 B(千円) ※R6は見込額	40,142	40,528	40,007	40,715	31,420	32,887	37,002	33,890
収支率 B÷A(%) ※R6は目標収支率 下記(2)参照	56.82	55.77	53.90	53.04	40.25	41.54	45.68	46.68
年間輸送人員 D(人) ※R6は目標年間輸送人員 下記(1)参照	119,625	119,144	111,737	123,978	94,685	99,065	107,639	111,000

(1) 目標年間輸送人員

①運行回数 1 回当たりの利用者を 1 人増やす

→1人×10.0回×366日=3,660人

②基準値

直近3年間（R2～R4）の年間輸送人員の平均値、またはR4の年間輸送人員と比較高いものとする。

→100,463人（R2～R4平均）< 107,639人（R4年間輸送人員）

③R6目標年間輸送人員設定（①+②）

→3,660人+107,639人=111,299人

→百の単位を四捨五入、111,000人を目標値とする。

・設定理由

利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数 1 回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

①年間事業収支率を 1 %改善する

②基準値

直近3年間（R2～R4）の収支率の平均値またはR4の収支率のいずれか大きいほうとする。

→42.49%（直近3年間収支率平均値）< 45.68%（R4収支率）

③R6目標収支率設定（①+②）

→45.68%+1%=46.68%

・設定理由

収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考 補助金交付実績額の内訳 単位:千円)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国	12,166.5	13,057.5	12,498.0	12,901.5	13,304.5	14,006.0	15,800.5
県	12,166	13,057.5	12,498.0	10,321.0	9,313.0	7,003.0	7,900.0
市	-	-	-	2,580.3	3,991.4	7,590.8	12,518.7
合計	24,333	26,115	24,996	25,802.8	26,608.9	28,599.8	36,219.2

生活交通確保維持改善計画（案）における生産性向上の取組
三ヶ木～橋本駅（神奈川中央交通株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・地域の情報紙に補助金を使って運行していること、利用促進に向けた協力依頼を掲載(相模原市)
- ・地域住民によるバス等必要な生活交通の協議会を実施(相模原市)
- ・自治会掲示板にポスターを掲載(相模原市)
- ・カードサイズの時刻表を作成(相模原市)
- ・市のHP及び広報にPRのため運行路線を掲載(相模原市)
- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施(事業者)

2 今後の取組

- ・地域の情報紙に補助金を使って運行していること、利用促進に向けた協力依頼を掲載(相模原市)
- ・地域住民によるバス等必要な生活交通の協議会を実施(相模原市)
- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施(事業者)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R6
運行回数(回/日)	11.0	11.0	11.0	11.0	10.9	11.0	11.0	11.0
路線キロ程(km)	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1
年間実車走行キロ(km) ※R6は年間計画実車走行キロ(km)	137,998.6	137,714.5	137,200.0	137,536.3	137,920.3	137,717.7	137,714.9	138,091.8
経常費用 A(千円) ※R6は見込額	72,607	74,706	76,299	78,841	80,464	81,487	83,306	81,935
経常収益 B(千円) ※R6は見込額	31,540	31,352	32,093	31,560	25,693	25,607	28,942	26,807
収支率 B÷A(%) ※R6は目標収支率 下記(2)参照	43.44	41.97	42.06	40.03	31.93	31.42	34.74	35.74
年間輸送人員 D(人) ※R6は目標年間輸送人員 下記(1)参照	135,729	127,876	134,407	133,115	107,231	106,596	122,617	127,000

(1) 目標年間輸送人員

- ①運行回数1回当たりの利用者を1人増やす
→ $1人 \times 11.0回 \times 366日 = 4,026人$
 - ②基準値
直近3年間(R2～R4)の年間輸送人員の平均値、またはR4の年間輸送人員と比較高いものとする。
→ $112,148人 (R2 \sim R4平均) < 122,617人 (R4年間輸送人員)$
 - ③R6目標年間輸送人員設定(①+②)
→ $4,026人 + 122,617人 = 126,643人$
→百の単位を四捨五入、127,000人を目標値とする。
- ・設定理由
利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数1回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

- ①年間事業収支率を1%改善する
 - ②基準値
直近3年間(R2～R4)の収支率の平均値またはR4の収支率のいずれか大きいほうとする。
→ $32.69\% (R2 \sim R4平均) < 34.74\% (R4収支率)$
 - ③R6目標収支率設定(①+②)
→ $34.74\% + 1\% = 35.74\%$
- ・設定理由
収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考 補助金交付実績額の内訳 単位:千円)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国	15,453.5	15,363.5	15,243.0	15,288.5	15,489.0	15,840.5	14,943.0
市	18,968.5	24,660.5	24,416.0	24,446.1	24,854.9	26,328.6	30,966.1
合計	34,422.0	40,024.0	39,659.0	39,734.6	40,343.9	42,169.1	45,909.1

地域間幹線系統確保維持計画（案）における生産性向上の取組
新松田駅～西丹沢ビジターセンター（富士急湘南バス株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・広域バスマップの作成・配付（小田原市、大井町、松田町、山北町他）
- ・バスと町営施設との割引乗車券の販売（富士急湘南、山北町）

2 今後の取組

- ・バスロケーションシステムの導入による利便性の向上（富士急湘南）
- ・利用促進の実施（富士急湘南、小田原市、大井町、松田町、山北町他）
- ・静音性に優れた車内の振動も少ない事により利用者に優しく、環境にも優しいEVバスの導入による利用促進（事業者）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R6
運行回数(回/日)	8.0	8.0	7.9	7.9	7.1	6.9	6.9	6.9
路線キロ程(km)	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9
年間実車走行キロ(km) ※R6は年間計画実車走行キロ(km)	185,847.4	188,819.6	185,144.2	184,952.5	166,767.2	161,238.2	162,708.3	161,749.5
補助対象経常費用 A(千円) ※R6は見込額	51,062	56,628	58,922	59,983	57,124	58,639	55,311	56,405
経常収益 B(千円) ※R6は見込額	38,066	40,848	41,588	41,893	39,507	41,868	43,961	45,394
収支率 B÷A(%) ※R6は目標収支率 下記(2)参照	74.55	72.13	70.58	69.84	69.16	71.40	79.48	80.48
年間輸送人員 D(人) ※R6は目標年間輸送人員 下記(1)参照	81,372	86,505	76,469	68,115	42,025	47,377	52,361	55,000

(1) 目標年間輸送人員

①運行回数 1 回当たりの利用者を 1 人増やす

→1人×6.9回×365日=2,525人

②基準値

直近3年間（R2～R4）の年間輸送人員の平均値、またはR4の年間輸送人員と比較高いものとする。

→47,254人（R2～R4平均）<52,361人（R4年間輸送人員）

③R5目標年間輸送人員設定（①+②）

→2,525人+52,361人=54,886人

→百の単位を四捨五入、55,000人を目標値とする。

・設定理由

利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数 1 回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

①年間事業収支率を 1%改善する

②基準値

直近3年間（R2～R4）の収支率の平均値またはR4収支率のいずれか大きいほうとする。

→73.34%（R2～R4平均）<79.48%（R4収支率）

③R5目標収支率設定（①+②）

→79.48%+1%=80.48%

・設定理由

収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考 補助金交付実績額の内訳 単位:千円)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国	4,791.5	5,193.5	5,614.5	6,975.5	6,239.3	6,426.7	6,904.4
県	4,791	5,193	5,614	6,975	6,239	6,426	6,904
合計	9,582.5	10,386.5	11,228.5	13,950.5	12,478.3	12,852.7	13,808.4

地域間幹線系統確保維持計画（案）における生産性向上の取組
 新松田駅～西大友・第一生命～小田原駅（富士急湘南バス株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・広域バスマップの作成・配付（小田原市・大井町・松田町、山北町他）
- ・バスの乗り方教室の実施（事業者・小田原市）
- ・町内を運行するバス時刻表を町の広報誌に掲載し、利用促進を図る（大井町）

2 今後の取組

- ・バスロケーションシステムの導入による利便性の向上（富士急湘南）
- ・利用促進の実施（富士急湘南、小田原市、大井町、松田町、山北町他）
- ・静音性に優れた車内の振動も少ない事により利用者に優しく、環境にも優しいEVバスの導入による利用促進（事業者）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R6
運行回数(回/日)	9.5	9.5	9.5	9.8	8.6	7.6	7.6	7.6
路線キロ程(km)	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8
年間実車走行キロ(km) ※R6は年間計画実車走行キロ(km)	90,291.6	90,317.6	89,806.1	92,686.5	81,892.4	72,153.3	72,153.3	72,302.7
補助対象経常費用 A(千円) ※R6は見込額	24,992	27,087	28,580	30,060	28,051	26,241	24,528	25,213
経常収益 B(千円) ※R6は見込額	23,472	24,416	26,864	27,238	25,285	24,270	22,527	23,407
収支率 B÷A(%) ※R6は目標収支率 下記(2)参照	93.92	90.14	94.00	90.61	90.14	92.49	91.84	92.84
年間輸送人員 D(人) ※R6は目標年間輸送人員 下記(1)参照	100,757	98,712	89,737	88,352	72,235	63,611	63,750	69,000

(1) 目標年間輸送人員

①運行回数1回当たりの利用者を1人増やす

→1人×7.6回×366日=2,781人

②基準値

直近3年間（R2～R4）の年間輸送人員の平均値、またはR4の年間輸送人員と比較し高いものとする。

→66,532人（R2～R4平均）>63,750人（R4年間輸送人員）

③R5目標年間輸送人員設定（①+②）

→2,781人+66,532人=69,313人

→百の単位を四捨五入、69,000人を目標値とする。

・設定理由

利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数1回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

①年間事業収支率を1%改善する

②基準値

直近3年間（R2～R4）の収支率の平均値またはR4収支率のいずれか大きいほうとする。

→91.49%（R2～R4平均）<91.84%（R4収支率）

③R5目標収支率設定（①+②）

→91.84%+1%=92.84%

・設定理由

収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考) 補助金交付実績額の内訳

単位: 千円)

年度	H28	H30	R1	R2	R3	R4
国	312	671	892.5	762.5	876.4	911.0

地域間幹線系統確保維持計画（案）における生産性向上の取組
新松田駅～下曽我～小田原駅（富士急湘南バス株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・広域バスマップの作成・配付(小田原市・大井町・松田町、山北町他)
- ・バスの乗り方教室の実施(事業者・小田原市)
- ・町内を運行するバス時刻表を町の広報誌に掲載し、利用促進を図る(大井町)

2 今後の取組

- ・バスロケーションシステムの導入による利便性の向上(富士急湘南)
- ・利用促進の実施(富士急湘南、小田原市、大井町、松田町、山北町他)
- ・静音性に優れ車内の振動も少ない事により利用者に優しく、環境にも優しいEVバスの導入による利用促進(事業者)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R6
運行回数(回/日)	5.7	5.7	5.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
路線キロ程(km)	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2
年間実車走行キロ(km) ※R6は年間計画実車走行キロ(km)	68,279.0	68,035.0	68,083.5	67,465.5	67,091.5	67,254.5	67,254.5	67,384.5
補助対象経常費用 A(千円) ※R6は見込額	18,868	20,404	21,667	21,880	22,981	24,459	22,862	23,498
経常収益 B(千円) ※R6は見込額	13,818	14,362	17,028	17,785	16,738	18,059	15,206	16,930
収支率 B÷A(%) ※R6は目標収支率 下記(2)参照	73.24	70.39	78.59	81.28	72.83	73.83	66.51	72.05
年間輸送人員 D(人) ※R6は目標年間輸送人員 下記(1)参照	56,412	56,491	56,512	56,683	45,434	41,355	45,249	47,000

(1) 目標年間輸送人員

①運行回数1回当たりの利用者を1人増やす

→1人×5.6回×366日=2,049人

②基準値

直近3年間(R2～R4)の年間輸送人員の平均値、またはR4の年間輸送人員と比較高いものとする。

→44,012人(R2～R4平均) < 45,249人(R4年間輸送人員)

③R5目標年間輸送人員設定(①+②)

→2,049人+45,249人=47,298人

→百の単位を四捨五入、47,000人を目標値とする。

・設定理由

利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数1回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

①年間事業収支率を1%改善する

②基準値

直近3年間(R2～R4)の収支率の平均値またはR4収支率のいずれか大きいほうとする。

→71.05%(R2～R4平均) > 66.51%(R4収支率)

③R5目標収支率設定(①+②)

→71.05%+1%=72.05%

・設定理由

収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考) 補助金交付実績額の内訳

単位:千円

年度	H28	H30	R1	R2	R3	R4
国	1,429.5	1,026.0	1,495.0	1,790.4	2,178.0	1,685.5

生活交通確保維持改善計画（案）における生産性向上の取組
海老名駅～寒川駅（神奈川中央交通株式会社・相鉄バス株式会社）

1 これまでの改善等に向けた取組

当該系統は、地域住民の通勤、通学、通院や買い物等の生活交通として利用されており、必要な路線である。

これまでも利用促進に向け次の取組を実施している。

- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施（事業者）
- ・これまで海老名市コミュニティバス本郷ルート、寒川町コミュニティバス北ルートとして運行してきた路線を見直し、平成26年10月に新規路線として現在の海老名駅～寒川駅線を運行しているため、バス運行のチラシを新たに作成しイベントにおいて配布し、またバス停付近の店舗に配布を依頼している。（事業者、海老名市、寒川町）
- ・運行開始以降、バス停を2箇所追加したほか、寒川神社へアクセスできる路線としてPRするため、バス停名称の変更・行き先の表示方法を変更した。（事業者、海老名市、寒川町）
- ・沿線の施設において、当該系統を利用することで受けられる優待イベントを実施し、海老名駅周辺にチラシを設置した。（事業者・海老名市）
- ・寒川町の町境に隣接する藤沢市の一部地域に最寄りのバス停への案内チラシを配布し、公民館での配布も依頼した。（寒川町）
- ・市の広報に、外出時の移動手段として掲出した。（海老名市）

2 今後の取組

- ・利用時のサービス向上のため、乗務員に対する教育を実施。（事業者）
- ・バス運行のチラシを作成しイベントにおいて配布し、またバス停付近の店舗に配布を依頼している。（事業者、海老名市、寒川町）
- ・通勤需要の取込みのため、PRチラシ等を作成し周知を図る。（海老名市、寒川町）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R6
運行回数(回/日)	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6
路線キロ程(km)	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
年間実車走行キロ(km)	70,338.4	70,303.8	70,281.2	69,931.8	69,991.3	70,116.4	70,120.4	70,140.8
※R6は年間計画実車走行キロ(km)								
経常費用 A(千円)	—	41,034	41,799	42,987	44,210	44,994	46,499	45,275
※R6は見込額								
経常収益 B(千円)	—	12,889	13,514	14,560	11,778	11,567	14,223	12,533
※R6は見込額								
収支率 B÷A(%)	—	31.41	32.33	33.87	26.64	25.71	30.58	31.58
※R6は目標収支率 下記(2)参照								
年間輸送人員 D(人)	54,165	56,790	57,008	63,547	50,797	49,954	59,689	63,000
※R6は目標年間輸送人員 下記(1)参照								

※本路線はH29. 4. 1から補助対象となる。

(1) 目標年間輸送人員

本路線はH29. 4. 1から補助路線としているが、運行はH27からの運行実績があるため、これを基に算出した年間輸送人員を基準とする。

①運行回数1回当たりの利用者を1人増やす

→1人×8.6回×366日=3,147人

②基準値

直近3年間（R2～R4）の年間輸送人員の平均値、またはR4の年間輸送人員と比較高いものとする。

→53,480人（R2～R4平均）< 59,689人（R4年間輸送人員）

③R6目標年間輸送人員設定（①+②）

→3,147人+59,689人=62,836人

→百の単位を四捨五入、63,000人を目標値とする。

・設定理由

利用者、住民に分かりやすい目標とするため「運行回数1回当たりの利用者を増やす」という設定にした。

(2) 目標収支率

①年間事業収支率を1%改善する

②基準値

直近3年間（R2～R4）の収支率の平均値またはR4の収支率のいずれか大きいほうとする。

→27.64%（R2～R4平均）< 30.58%（R4収支率）

③R6目標収支率設定（①+②）

→30.58%+1%=31.58%

・設定理由

収支率が改善していくことにより、将来的に補助金額の圧縮が期待できることから目標収支率を設定した。

(参考 補助金交付実績額の内訳 単位:千円)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国	2,268	5,427	5,415	7,859	8,064	6,734
市・町	12,337	23,667	22,948	20,438	20,235	22,211
合計	14,605	29,094	28,363	28,297	28,299	28,945